

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 2月1日から2日にかけて、高気圧が日本付近から日本のはるか東へ移動する。低気圧が西日本から東日本付近を東進する。
- 3日は、低気圧は日本の東を発達しながら北東に進み、日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 4日から5日にかけて、冬型の気圧配置が強まる。

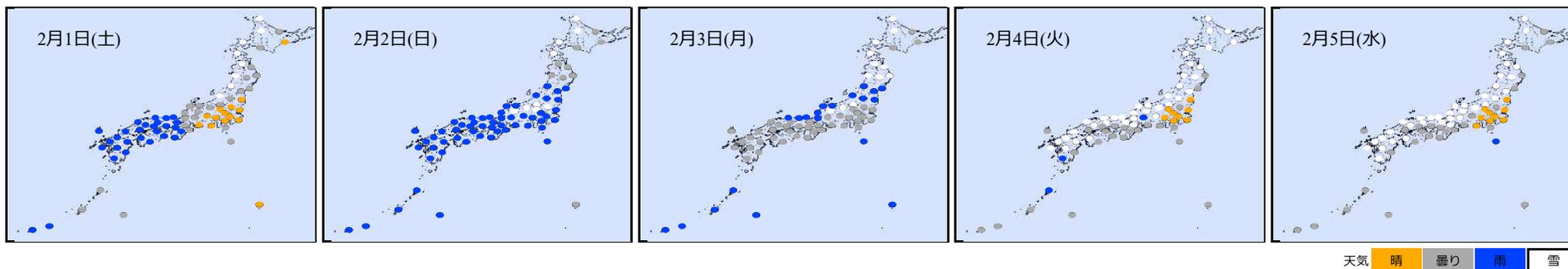
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 2月4日頃から、日本付近に強い寒気が流れ込むため、北日本から西日本の日本海側を中心に降雪量がかなり多くなる可能性がある。今後の資料に留意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

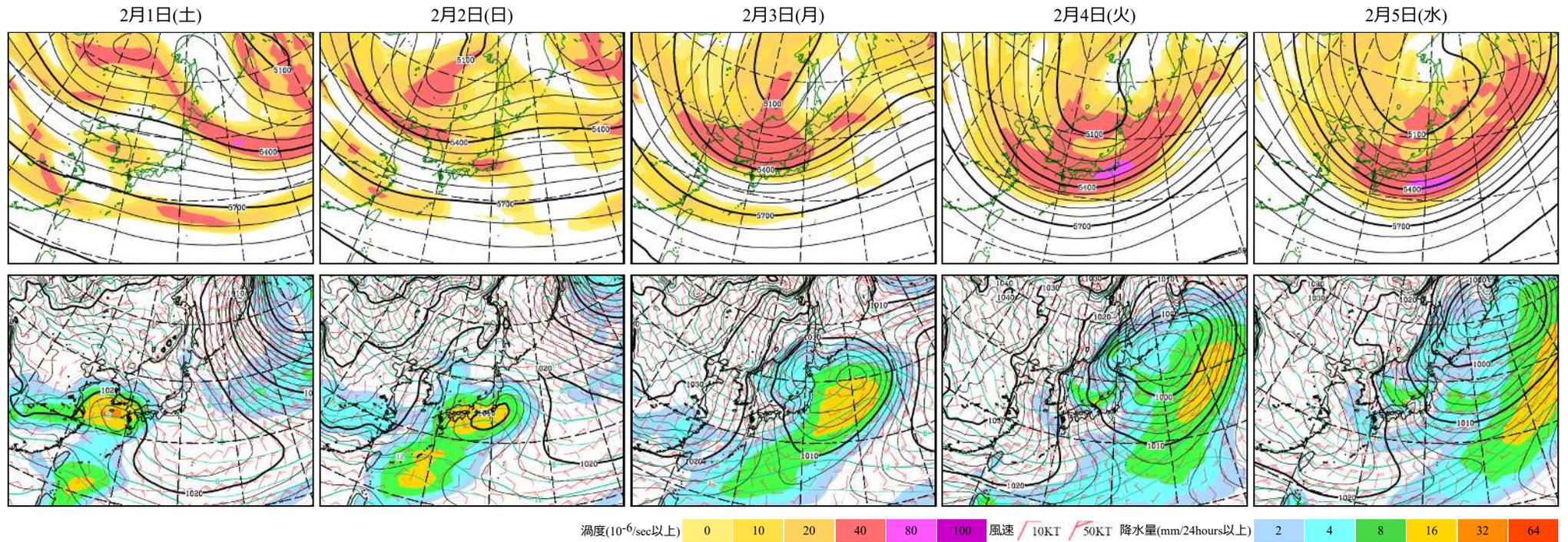
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

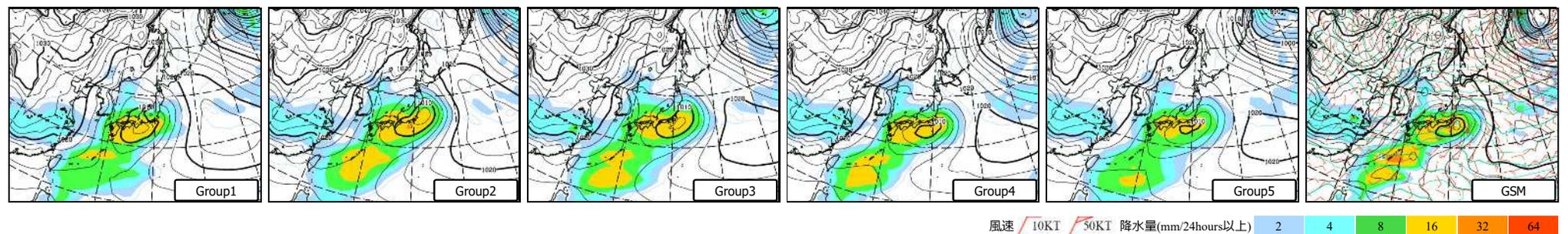


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、雨または雪の降る日がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく雨の降る日がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆2月2日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。
- 2月3日頃までは、各モデルともに初期値変わりが小さく、モデルの予想は揃っている。4日以降は寒冷渦の予想に初期値変わりがあり、5日のトラフの予想にはややバラつきが見られる。
- 2日の低気圧の予想は、各モデルともに南岸を進む予想で揃っている。ENSのメンバーも同様。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。